

<報道発表資料>

カテゴリー: イベント

令和4年6月16日

さいたま文学館 巡回展 「マーサ・ナカムラ展」について

さいたま文学館では、7月16日(土曜日)から巡回展「もっと、変な話をしたい。—異界への招待 第28回萩原朔太郎賞受賞者マーサ・ナカムラ展」を開催します。

この展覧会では、埼玉県出身の詩人で、萩原朔太郎賞を受賞したマーサ・ナカムラさんの受賞作『雨をよぶ灯台』をはじめとする詩集や、古写真や絵はがきなどのコレクション、学生時代の愛用品などを紹介します。

● 展示の概要

1 趣 旨

史上最年少で萩原朔太郎賞を受賞した詩人マーサ・ナカムラさんは、「天才と言われる方々がありますが、最年少で受賞したからといって、天才ではないと思います。ただ“異界”を生み出す能力があるのです」と語ります。

その言葉どおり、彼女の詩集を開いてみると、紙面を舞う言葉たちに吸い込まれるように異界へといざなわれ、詩集を閉じるころにはもうすっかり、“異界”に魅了されてしまうのです。どうしてこのような世界を構築できるのか。マーサ・ナカムラさんの受賞作『雨をよぶ灯台』を軸に、過去から現在にいたるまでの足跡をたどり、“異界を生む能力”の秘密に迫ります。

この展覧会は、2021年に萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館で開催した展示の巡回展として、マーサ・ナカムラさんの出身地である埼玉県で初めて開催するものです。

2 会 期

令和4年7月16日(土曜日)から8月28日(日曜日)まで

※休館日: 月曜日、7月19日・26日(火曜日)、8月23日(火曜日)

3 会 場

さいたま文学館 企画展示室および常設展示室

所在地: 桶川市若宮1-5-9

交通: JR高崎線桶川駅西口から徒歩5分

4 開館時間

午前10時から午後5時30分まで(観覧受付は午後5時まで)

5 観 覧 料

一般210円 学生・生徒100円

(中学生以下・障害者手帳をお持ちの方とその介助の方1名は無料)

6 展示構成

- ・著作の詩集ほか、共同主宰誌や掲載誌
- ・大学時代の講義課題
- ・マーサ・ナカムラさんのコレクションである古写真や絵はがき
- ・思い出の品である学生時代の品々
- ・著作の詩をイメージして制作された視覚的にも楽しめる立体展示物

7 企画

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館

8 特別協賛

マーサ・ナカムラ、マーサ・ナカムラ氏のご家族

9 協力

小笠原あり、柴田元幸、外間隆史、ポリリー・バートン、松本孝一

10 後援

松伏町教育委員会